

## 回復期病棟における超高齢者への積極的リハビリの効果

### 研究の概要

近年、超高齢化は進み回復期リハビリテーション病棟へも超高齢者（85歳以上）の入院が増加している。また、回復期リハビリ病棟では1日2時間以上の積極的リハビリが推奨され、当院では85歳以上の患者に対しても1日2時間以上のリハビリを提供している。一方で超高齢者への積極的リハビリは困難であるという意見も耳にする。

そこで85歳以上と85歳未満の患者様では回復期病棟でのリハビリ効果や転帰先を調査したい。

### 研究対象

平成23年4月～平成24年9月までに当院回復期リハビリ病棟から退院した患者

### 研究の意義

回復期リハビリテーション病棟における超高齢者の積極的リハビリ効果を検証し、これから増加が予想される超高齢者へのリハビリの必要性を明らかにしたい。

### 研究の方法

当院回復期にて入院している際に聴取または検査した身体的データをもとに85歳以上の患者と85歳未満の患者を回復率や転帰先について比較する。基本情報・身体機能および社会的情報については以下のデータを使用する。

基本情報	疾患名 年齢 介護度 回復期病棟入院期間内のリハビリ提供量
社会的情報	退院先 在院日数
身体的情報	日常生活機能評価 10m歩行速度 重心動揺計検査（総軌跡長・動的可動域） MMSE FIM

共同研究機関

なし

### 個人情報に対する配慮

入院中における検査目的として使用されたデータをもとに研究利用させていただきます。院内に保管している患者様の個人情報は院外に出ることがないように厳重に保管しています。また、研究に利用するデータは患者様個人が特定されない方法で利用させていただきます。患者様もしくはご家族様がこの研究へのご参加を希望されない場合には以下の連絡先までご連絡いただけましたら、その方のデータは本研究に利用しないように致します。

照会先および研究への利用を拒否する場合の連絡先

〒512-1111 三重県四日市市山田町 5538-1

小山田記念温泉病院 リハビリテーション科 小崎琢也

TEL 059-328-1260 FAX059-328-1921